



私たちが暮らす仙台に、  
仕事にプライドを持ち、  
たくさんの経験を通して  
さらなる成長を目指します。

Close-up Interview

クローズアップインタビュー

渡邊 能宏氏

わたなべ・よしひろ

【概要】

仙台商工会議所青年部

令和6年度会長 渡邊 能宏(ワタヒョウ株式会社代表取締役)  
事業内容 45歳までの青年経済人が、自企業と地域経済の発展に寄与することを目的に、独自事業の企画・運営、会員限定のセミナーやワークショップ、全国の商工会議所青年部と連携したさまざまな活動を行う。  
2024年4月1日現在の会員数は229人。

所在地 仙台市青葉区本町2-16-12  
TEL 022-265-8127(仙台商工会議所青年部事務局)  
HP https://www.sendai-yeg.jp

仙台商工会議所青年部 令和6年度会長

プロフィール

1981年生まれ。仙台市出身。  
明治大学政治経済学部を卒業後、米国セントラルミズーリ大学大学院に進学。  
2007年12月、同校卒業後に帰国し、翌年7月に株式会社に入社。2011年12月、同社を退社。2012年3月、ワタヒョウ株式会社入社。取締役執行役員経営企画部長、代表取締役副社長執行役員を経て、2016年7月より現職。  
仙台商工会議所青年部には、2014年4月に入会。専務理事、副会長などを歴任し、2024年4月、仙台商工会議所青年部第23代会長に就任。

― はじめに、近年の仙台商工会議所青年部(以下、仙台YEG)の活動についてご紹介ください。

私たち仙台YEGは、「政策提言団体」であることを改めて認識し、2019年からスタートしたのが政策提言活動です。昨年4月には、郡和子仙台市長へ提言書の手交を行い、その内容を直接ご説明するなど、提言活動が徐々に形になってきていると実感しています。

今回、5回目となる政策提言は、目的を「シビックプライドの醸成」と定めました。シビックプライドとは「都市に対する市民の誇り」を指す言葉で、地元宮城仙台が好きという気持ちを、単なる愛着ではなく「誇り」に思うところまで高めていくことなのです。2022年度、私が政策提言委員会の担当副会長を務めたときには、「伊達の一本締め」の条例の制定」を提言の一つに盛り込んだのですが、最近では会場の最後などに実施してくださる方が増え、少しずつではありますが、浸透しているのを感じています。

もう一つ、近年、力を入れているのが学生を対象にした事業です。仙台は「学都」と言われ、大学などの学校が非常に多くあるにもかかわらず、首都圏などへの卒業生の人材流出が止まりません。これは仙台にとって非常に大きなマイナスです。そこで学生の皆さんに少しでも地元で働くイメージを持ってもらい、定着してもらえよう、学生に地元企業の経営者と気軽に



写真上:郡市長への提言した際の様子(2023年4月19日)。当日は提言書の作成に関わった当時の役員や、政策提言委員会の代表者が出席し、提言内容について説明を行った。



写真下:令和6年度仙台YEGスローガン

― メンバー間の連携で生まれた事業などがあれば教えてください。

活動を通して人脈が広がり、お互いの本業や人柄にふれる機会もありますので、それぞれの会社の商品を購入したり、サービスを利用させてもらうことはよくあります。これも仙台YEGの一員になる大きなメリットであると思います。また、新たに会社を立ち上げた例としては、コロナ禍で利用が減少したタクシー会社と飲食店が手を組み、タクシーを使って飲食店の料理をデリバリーする新事業を立ち上げました。さらに最近では、不動産業と解体業のメンバーとで、建設会社の設立にこぎ着けた例もあります。信頼できる仲間同士だからこそ、スムーズに提携が進み、事業化を実現するスピードも速いのではないかと考えています。

― 2024年度のスローガンに込めた思いをお聞かせください。

2024年度は、「YEG PRIDE 地域のため、自社のため、ポジティブなリーダーになる!」を活動のスローガンとしました。このスローガンには、仙台YEGという団体で活動できることに、いま以上に誇りを持つこと、そして昨今の非常に変化の激しい世の中において、地域や自社のためにビジョンを示し、それを実現するために周りを巻き込んで導くリーダーを目指そう、という思いを込めました。



## Close-up Interview

# 信頼できる仲間との出会いが 社業にも存分に生かされ、 新事業も生まれています。



— 2024年度に実施を予定している事業にはどのようなものがありますか。

私は2022年度、日本YEGに出向する機会を得たのですが、そこで私たち仙台YEGの活動を、全国のYEGメンバーの皆さんが、高く評価してくださっていることを知りました。そこで、私たちが有するポテンシャルをもっと引き上げるためにも、「リーダー研修」と「リベラルアーツ研修」を新たに設けます。

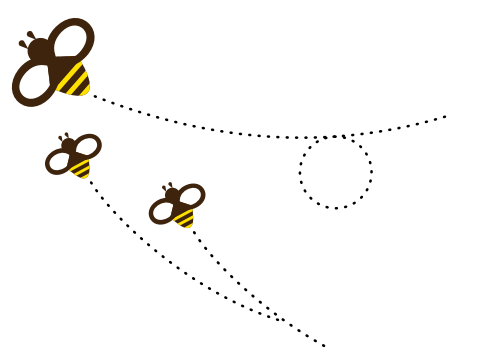
リベラルアーツとは、一般教養と訳されたりしますが、幅広い学問領域を横断的に学び、物事を多角的に見る力を養うことを研修の目的とします。さらに、コロナも落ち着いたことを受け、「海外視察研修」を再開する予定です。決定ではありませんが、ウエルビーイング（心身・社会的な

健康）やIT、デザイン、働き方などの分野における先進国であり、「世界一幸せな国」とも言われるフィンランドを、視察の候補地に挙げています。私は2019年に実施されたニューヨーク視察研修に参加しましたが、やはり現地に行くことで感じられること、経験できることがありますので、今年度は海外での研修を再開したいと考えています。

— 最後に、仙台YEGや社業における今後の抱負をお聞かせください。

現在、仙台YEGのメンバーは229人ですが、今後もその人数を増やし、仙台というまちの規模にふさわしい団体になっていきたいと考えています。経営者の方はもちろん、そうでない方も、仙台商工会議所の会員企業の方で、45歳未満であれば入会できますので、ぜひ一緒に活動しましょう。

社業においては、2年前にリフォーム事業部を新たに立ち上げ、リフォームやリノベーションの分野に参入しました。新規事業の立ち上げは、以前から考えていたことでもありますが、丁寧に軌道に乗せていきたいと思っています。また、取り扱う商品には家の断熱性を上げること、CO<sub>2</sub>削減につながるというように、持続可能な社会の実現に寄与する商品やサービスも多数ありますので、これからの世の中に求められるモノやコトを仙台YEG活動の中で学びながら、本業にも生かしていきたいと考えています。



より良い環境をめざす。

**青葉環境保全 Aoba**

〒984-0037 仙台市若林区蒲町19-1 TEL 022(286)3161(代)